

機械器具 3 医療用消毒器  
小型未包装品用高圧蒸気滅菌器 JMDNコード 40547020  
管理医療機器 特定保守管理医療機器

スーパークレーブFX260

**\*\*【警告】**

1. 滅菌室の針が「0」の時以外は絶対にドアを開けないこと。[火傷や怪我をする恐れがあります。]
2. 滅菌器、被滅菌物は高温になるので火傷に注意すること。

**【禁忌・禁止】**

1. 蒸気を通さない容器・袋に被滅菌物をいれて滅菌しないこと。[滅菌できなったり、故障の原因になります。]
2. 培地・液体・薬品を滅菌しないこと。[薬品類は爆発を起こしたり、チャンバーを腐食させるものがあり、火傷や怪我の原因になります。また、排気時にチャンバー内の圧力が急激に低下するため、容器から培地などが飛び散り、配管やバルブにつまり、故障の原因になります。]
3. 連続運転は行わないこと。[全工程が終了した直後に滅菌を行いますと、ヒーターが熱くなっているため、給水時に水が沸騰して水位検出が早く行われて空焚きとなる恐れがあります。]完了ブザーが鳴った後、被滅菌物を取り出し、ドアを少し開き20分以上の冷却時間を置いてから次の滅菌をスタートすること。

4. 可燃性麻酔剤などが存在する引火性のある環境で使用しないこと。[防爆型の機器ではないため、引火又は爆発を誘引する可能性があります。]
5. 作動させたままで外出は危険です。診療終了後、高圧滅菌器を作動させたまま帰宅し、翌朝取り出すという使い方は絶対に行わないこと。[異常発生の場合の即時対処が行えず、事故に繋がる恐れがあります。]
6. 被滅菌物を直接スノコ板に置かないこと。[被滅菌物を焦がす原因になります。]

**【形状・構造及び原理等】**

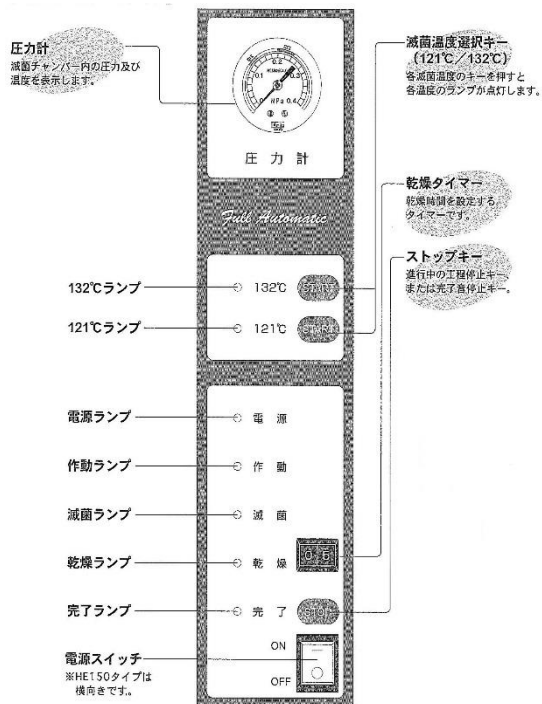
〈各部の名称〉

**本体外観図**



取扱説明書を必ずご参照ください

## コントロールパネル



## 【作動・動作原理】

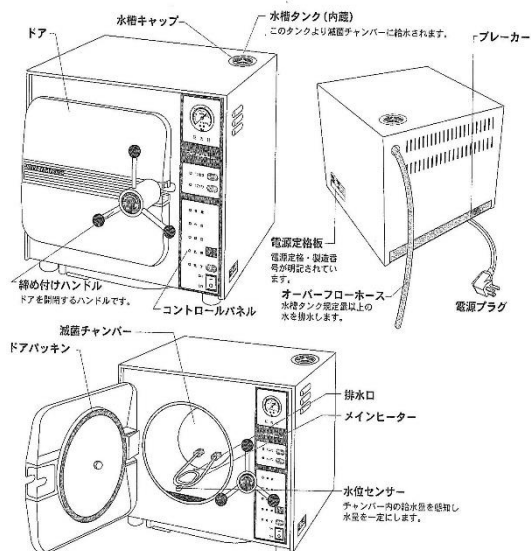
本器は、高圧蒸気による医療用具の滅菌器であり、設定した時間で滅菌から乾燥までフルオートマチックに行います。水を入れた水槽タンクから滅菌チャンパーに給水され、滅菌チャンパーより水槽タンクへ水が排水されます。また、マイコン・サーミスタ方式により温度制御を行います。

## <仕様等>

### スーパークレーブ FX260

外寸法	巾 503mm / 奥行 553mm (ドアハンドル奥行き 95mm 含む) / 高さ 398mm
チャンパー有効寸法	直径 260mm × 奥行 350mm
チャンパー収容力	丸カスト (21cm) × 2 ケ / 専用カスト E22 × 2 ケ / 専用カスト L-22 × 1 ケ
操作方法	ワンタッチ全自動
滅菌温度	121°C / 132°C
制御回路	マイコン制御
滅菌時間	121°C : 20分 / 132°C : 5分
乾燥時間	0~99分まで変更可
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	1.44kW
重量	28kg
付属品	スノコ板 1枚・ナイロンたわし 1個・排水フィルター 1個

## 本体



## 【使用目的又は効果】

### <使用目的>

本器は高圧蒸気により、医療用具等を滅菌するために使用する。

詳細については取扱説明書の「4.各部の名称」の章を参照。

取扱説明書を必ずご参照ください

## 【使用方法等】

1. 電源スイッチを「ON」にします。圧力計が「0」であることを確認して被滅菌物を滅菌チャンパーに入れ、ドアを閉じてドアハンドルを閉方向に回して、ロックします。
2. 乾燥時間設定ダイヤルにて、乾燥時間をセットしてください。
3. 滅菌温度 132℃又は、121℃のいずれかを選び、スタートキーを押します。
4. 滅菌温度のスタートキーを押すと「121℃」又は「132℃」表示が点灯し、「作動」「滅菌」「乾燥」「完了」までの、全ての作業が自動的に行われます。
5. 完了になると完了音が 30 秒鳴り、完了表示灯が点滅するので、圧力計が「0」であることを確認して、ドアハンドルを開方向に回して、ドアを開き、被滅菌物を取り出すこと。（ドアを開けると蒸気が出ますので手や顔などを絶対に近づけないでください。又、被滅菌物は高温になっていますので、取り出すときは十分に注意してください。）
6. 一日の使用後は必ず電源スイッチを切ってください。
7. 使用中に警報が鳴った場合は取扱説明書の「13. 警報及び対処方法」の章の説明に従って対応してください。
8. 電源プラグは必ずコンセントに取り付け、延長コードへの接続による使用はしないこと。
9. 水槽タンクに水を入れたまま移動しないこと。〔水がこぼれるなど、感電の原因になります。〕

詳細については取扱説明書の「8. 操作方法」の章を参照。

## \*\*【使用上の注意】

1. 被滅菌物同士は、出来るだけ隙間を空けて収納してください。詰め過ぎると蒸気の浸透が妨げられ滅菌できない恐れがあります。バイオロジカルインジケータを用いて、被滅菌物の収納状態・量等の滅菌条件を決定してください。
2. 滅菌効果は被滅菌物の収納方法等で変わります。ケミカルインジケータと一緒に収納し滅菌効果の確認をしてください。
3. 異常時（焦げ臭いなど）は、ストップキーを押し運転を停止し、電源スイッチを「OFF」にしてください。
4. 本器は水平な場所に設置し、また側面、後面は壁から 5cm 以上離して設置すること。
5. 長期間使用しなかった場合は点検を受けるなど、作動上の安全を確認してから使用してください。

詳細については取扱説明書の「3. 安全上のご注意」「7. 設置方法」「8. 操作方法」を参照してください。

## 【保管方法及び有効期間等】

### <貯蔵・保管方法>

水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。

### <耐用期間>

保守点検及び専門業者による定期点検を適切に実施して製造出荷後 7 年。（自己認証による）

## \*\*【保守・点検に係る事項】

### <使用者による保守点検事項>

取扱説明書「10. 定期点検」及び「11. お手入れ方法」を参照して以下の事を行ってください。

1. 清掃は電源スイッチを「OFF」にして圧力計の針が「0」になっていること、本器が冷めていることを確認してから行うこと。
2. 滅菌チャンパー内の清掃  
水又はアルコールをしみ込ませた柔らかい布でチャンパー内を拭き取り清掃してください。/毎日
3. ドアパッキンの清掃  
水又はアルコールをしみ込ませた柔らかい布でドアパッキンを拭き取り清掃してください。/毎日
4. 水位センサーのお手入れ /1 週間に 1 回
5. 排水フィルターのお手入れ /1 週間に 1 回
6. 水槽の水の交換 /1 週間に 1 回
7. 電源プラグの確認 /1 年に 1 回
8. ドアパッキンの交換 /1 年に 1 回

**取扱説明書を必ずご参照ください**

<業者による保守点検事項>

1. 2年に一度、弊社指定の専門業者による点検を行うこと。

詳細については取扱説明書の「10. 定期点検」及び「11. お手入れ方法」の章を参照。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売元

ヒルソン・デック株式会社  
埼玉県鴻巣市宮前 547-1  
TEL 048 (595) 0380

製造元

ヒルソン・デック株式会社  
埼玉県鴻巣市宮前 547-1

取扱説明書を必ずご参照ください